

## 三草小学校オープンスクール等で「ごみの分別出前講座」を実施

加東市の小学校4年生の児童は、総合学習の一環として、社会科のなかで「ごみ」について学習しています。

10月25日には、三草小学校オープンスクールに市職員が出張して「加東市のごみ分別の出前講座」を開催。保護者のみなさまと一緒に、ごみの分別について学びました。

班ごとの分別体験では、6班中4班が「お菓子の空き箱」や「チラシ」などのリサイクルできる紙ごみを、「燃えるごみ」に分別しているのが見られました。また、プラスチックの分別に苦労していました。

紙ごみは、集団回収などに出せば、新たな紙やトイレットペーパーなどにリサイクルされることや、容器包装プラスチックなどは、分別表示マークを確認することなどを学習しました。

学習成果を学校や家庭で役立てていただき、リサイクルを推進していきましょう。



班に分かれて保護者と一緒に分別体験

### 児童からの感想

紙を燃やさなかったら新しい紙になるから、燃やさない方がいいとわかりました。加東市が、3位というのもびっくりしました。

お父さんやお母さんが、がんばっていることがわかりました。わたしも、できることはがんばりたいです。

## リサイクルできる雑がみ

次のような雑がみは、雑誌と同じ区分として、集団回収に出してください。



### 封筒類

※窓のビニールセロハンを取り除いてください。



### 日用品・食料品の紙箱

※ビニール・プラスチック・金属部分は取り除いてください。



### 新聞広告以外のチラシ類

※新聞広告は、新聞紙と一緒に集団回収に出してください。



### 紙袋・包装紙類

※紙以外の取っ手は、取り除いてください。



紙袋に入れるか、雑誌などの間にはさみ、ひもで十字にしぼって出してください。

## リサイクルできない雑がみ

臭いのついた紙(石けん、化粧品、線香の箱など)、感熱性発泡紙(点字用紙)、捺染紙(アイロンプリント用紙)

## ごみの分別出前講座を受けてみませんか？

市職員が、学校、地区、各種団体、事業所などにお伺いして、ごみの分別などについて説明します。

受講を希望される方は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 市民安全部生活課 (滝野庁舎) ☎48-3507

**さらなる減量を目指して**  
燃えるごみの排出量は減少傾向でしたが、昨年度は、わずかに増加に転じました。ごみ減量運動は、継続が大切です。今後、さらにごみを減量するためには、次の2つを徹底することが大切です。  
①燃えるごみの中でも「雑がみを含む紙類」を分別し、集団回収に出す。  
②「生ごみ」の水切りを徹底する。

「分ければ資源、混ぜればごみ」を意識して、紙類を燃えるごみではなく資源ごみに分別していただくことが、リサイクルにつながります。また、生ごみを出す前に「ぎゅっ」とひと絞り水切りをするだけでも、ごみ減量に大きな効果があります。今後さらなるごみ減量とリサイクルの推進に、ご協力をお願いします。

## 生活系ごみ排出量 少なさランキング 県内29市で加東市は第1位 ~全体でも、4年連続ベスト5入り~

(表1) 1人1日あたりの生活系ごみ排出量 (兵庫県)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1位	佐用町 447g	多可町 521g	多可町 527g	多可町 512g	多可町 498
2位	穴粟市 485g	神河町 557g	神河町 540g	神河町 529g	神河町 528g
3位	神河町 512g	加東市 566g	加西市 540g	加西市 554g	加東市 546g
4位	丹波市 519g	市川町 573g	加東市 554g	加東市 569g	穴粟市 570g
5位	市川町 521g	穴粟市 598g	市川町 561g	穴粟市 578g	加西市 571g

※平成18年度は、570gで県内第6位でした。

**好成績の理由は？**  
市では、平成18年度を基準に、燃えるごみの排出量を20

「一般廃棄物実態調査(平成22年度調査)」によると、加東市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量の少なさは、県内41市町の中で第3位、県内29市の中では第1位でした。(表1) また、事業系ごみ(第21位)を含めても、第5位という好成績でした。

また、保健衛生推進委員会をはじめとする地区役員の方々には、地域のリーダーとして、「ごみの分別指導」、「ステーションの管理」、「まちを美し

その結果、2年目の平成20年度に目標の20%削減を達成。その後も毎年、目標値をクリアしており、平成23年度の削減率は23%でした。(表2)

(表2) 燃えるごみ排出量の推移

年度	排出量(t)	削減率(%)
H18	6,147	—
H19	5,331	13
H20	4,889	20
H21	4,868	21
H22	4,726	23
H23	4,738	23

(平成18年度比)

くする運動」などに取り組んでいたいただいています。こうした市民のみなさまによる主体的な活動も、ごみ減量のための大きな原動力となっています。

美しいまちをつくるには、私たち一人ひとりの取組が大切です。限りある資源を有効に利用するため、資源化可能なものはしっかりと分別し、ごみの減量、リサイクルを進めましょう。

# みんなので取り組む！ ごみまのダイエット



「エコしましょう！ポスター展」市長賞作品 (滝野東小学校4年生 藤本唯菜さん)